

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先 市民活動支援センター
 尾張旭市波川町三丁目5番地7
 (波川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878

第二十三回 アダプト運動

平成二十四年五月二十七日
 天候晴 25℃
 ゴミ袋八袋

輝は静とゴミ拾いは
 動りにも学びが精神
 統一も図る人にとその
 柱にと思ふその
 レンゴと拾いに心を
 かボランアとしても
 人が嫌う活動のことで
 ある。
 でも街を走りの基礎は
 ゴミ拾いからであり、
 原点に戻ろう。

市道長坂通り
 緑町周辺



2012/05/27



2012/05/27

愛知県名古屋
 二幸田線(旭南線)
 清掃活動に街の
 カルアが七年間も
 美化活動に協力し
 てくれております。
 中部三郷シニアの方
 で年一回朝早くから
 県道の歩道と側溝に
 捨てたゴミを拾って
 本気に社会貢献に協
 力してもらっております。
 その背を見て子供達
 も一瞬に頑張りて
 おります。
 シニアと子供達の交流
 こそが街づくりの基
 礎です。

市道のアダプト運動

めぐみの雨
 いじいじした梅雨の雨も
 真夏のスコールも
 生きものにとそれは命の綱。
 雨の効用を知らず、雨を愉しむ暮らしも
 発見しまらう。

雨が語り、唄う人生の機微
 雨はなによりも歌謡世の言葉を奉語。
 雨(言葉)「雨の素朴」(代筆)
 雨の御堂前(政陽)「長崎は今日も雨
 だった」(クレイ)「雨のそよ風」(三ツミ)
 「じやがりの雨」(かて)「和太アキ子」



2012/05/27

緑町周辺坂上、ゴミ袋六袋、草刈り

県道を清掃するシニア



2012/05/27

県道両側三郷中部シニアの活動



2012/05/27